

22日
(土曜日)

湯元
田植
踊

ゆもとだうちえおどり

まち



かど

よってらっしゃい!



民俗 芸能

23日
(日曜日)

公



みてらっしゃい!

演



会



生出森八幡神楽

おいでもりはちまなかぐら

令和7年

両日2回公演

各回15~20分程度

11月22日・23日



アーケードの交差点の藤崎側でやります!
(株式会社 藤崎 HP引用)



【時間】13時30分~・14時30分~ 【会場】藤崎本館 (一番町玄関前特設会場)

【主催】仙台市教育委員会 【お問い合わせ】(電話) 022-214-8892 (文化財課)

【協力】株式会社 藤崎、仙台商工会議所、仙台民俗芸能保存継承協議会

22日
(土曜日)

湯元田植踊



【現地での公演】

- ◇時期：毎年5月5日（こどもの日）
／湯元子育て薬師例祭
- ◇場所：泉明寺薬師堂前の仮設舞台
- ◇アクセス：JR 仙台駅より宮城交通バス
「秋保大滝」行きに乗り、
「秋保温泉湯元」下車すぐ。
又はJR愛子駅より車で約15分

出演

湯元田植踊保存会（太白区）
（ユネスコ無形文化遺産／国指定無形民俗文化財）



出演団体のご紹介



田植踊はその年の豊作をあらかじめ祝う予祝の民俗芸能です。太白区秋保町の馬場、長袋、湯元の3地区に伝わる田植踊を「秋保の田植踊」と総称しています。特に華やかさが魅力で、弥十郎（やじゅうろう）と鈴振りの前口上に続き、花笠を被った早乙女が、歌・笛・太鼓の囃子に合わせて踊ります。

湯元の田植踊がいつから演じられてきたのかはつきりしたことは分かりませんが、一旦途絶えていたところを昭和5・6年頃に復活させました。戦争の影響で再び休止したものの、昭和21年に再開して以降、今日まで伝統を繋ぎ、現在は地元小学校での伝承活動にも力を注いでいます。



まちかど 民俗芸能公演会

23日
(日曜日)

生出森八幡神楽



【現地での公開】

- ◇時期：毎年4月20日に一番近い日曜日
／生出森八幡神社（里宮）例祭
- ◇場所：生出森八幡神社里宮の神楽殿
- ◇アクセス：宮城交通バス「生出中学校前」下車、徒歩約5分

出演

生出森八幡神楽保存会（太白区）
（仙台市指定無形民俗文化財）



生出森八幡神楽は、明治24年（1891）ごろに、名取市の熊野神社（熊野新宮社）に伝わる熊野堂神楽を習い覚えたことに始まります。セリフや神楽歌はなく、除災招福と地域の安寧を願う人々の気持ちを受け止めてきました。生出森八幡神社の里宮の例祭日には、神楽殿に「らんりつ」もしくは「天幕」と呼ぶ舞台飾りをして奉納されます。

従来は男性だけが神楽師を務めていましたが、近年は女性の希望者も積極的に受け入れて歴史をつないできました。地元中学校での伝承活動のほか、西多賀の多賀神社例大祭（5月1日）や長町の舞台八幡神社祭典（5月3日）等でも上演され、多くの人々に親しまれています。

出演団体のご紹介

◆予告◆ 第38回 民俗芸能のつどい

（日時）令和8年2月14日（土） 午後1時30分開会（予定）

（会場）日立システムズホール仙台 シアターホール／入場無料／自由席

仙台市内外で活動する田植踊・神楽・鹿踊を、座席でゆったりと鑑賞いただけます！

（第37回の様子・長袋の田植踊）



この広報紙は雑紙としてリサイクルできます